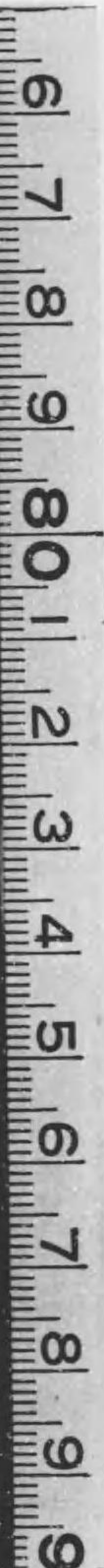


14. 21-478



1200501160828

478



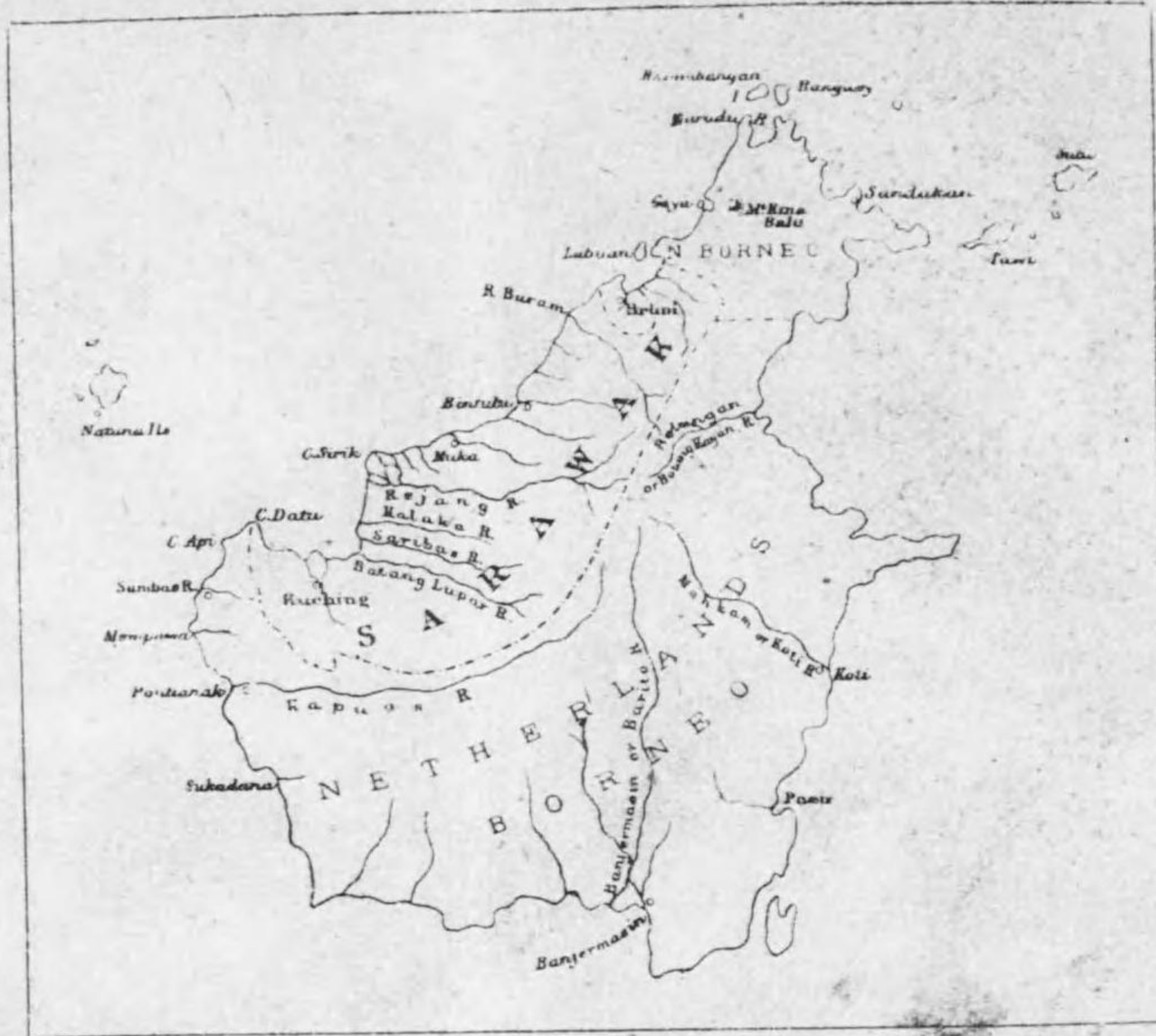
始



IF3A-52

サラワク王國在留邦人の狀況

(南支那及南洋調査
第百五十一輯)



臺灣總督官房調査課

14.21-478



凡 例

- 一、本書は、多年サラワク王国に在留する松本辰藏氏が、日沙商會社員たる傍ら、調査したるものを、同氏の許諾を得て上梓せるものである。
- 一、サラワク王国は、交通不便なるより従來世人に閑却せられたるも、ホルネオの開發に伴ひ一般の著目する所となるは、疑ふべくもあらず、松本氏の調査は將來同國の事情を調査せんとするものにありて、好箇の資料たるを失はない。
- 一、本書に記述する所は、昭和三年一月末現在に係る。
- 一、卷末に附せるサラワクの輸出入統計は當調査課に於て纏めたものである。
- 一、本書は、閱覽の便を圖り、筆寫に代ふるに印刷を以てしたるに止まり、敢て公刊せんとするもので無い。

昭和三年七月

臺灣總督官房調査課



深 寄贈本



子部本

サラワク王国在留邦人の状況 目次

- 一、在留邦人数其他……………一
- (1) 在留邦人总数……………一
- (2) 職業別人口数……………一
- (3) 土地及土質の關係……………三
- (4) 金融機關設置の必要……………四
- (5) 各種産業の狀態……………四
- 二、地方別栽培業者の状況……………七

附 録

- 第一 サラワク王国最近十ヶ年輸出入貿易表……………二三
- 第二 一九二四―二六年サラワク王国輸出入貿易比較表……………二五
- 第三 一九二四―二六年サラワク王国輸出入貿易比較表……………三五

サラワク王国在留邦人の状況

一、在留邦人数其他



(1) 在留邦人總數		(2) 職業別人口數	
男	女	計	職業別
五二名	三八名	九〇名	個人經營護謨園關係者
	二五名	二五名	男
	一三名	一三名	女
	一三名	一三名	子供

會社經營護謨園關係者(園醫一名を含む)

計 四七名

男 一八名

女 八名

子供 五名

計 三一名

商人(藥種業男二名女一名を含む)

男 八名

女 六名

子供 二名

計 一六名

其他(製材、齒科、無職者を含む)

男 八名

女 五名

子供 八名

計 二一名

累計 一一五名

前掲數字より、ミリ在住の邦人一〇名を取除くときは、他は殆んどクチン市附近に居住し、田舎には殆んど皆無と稱するも不可ならず。斯くクチン市内外及びミリを除き、他の地點に於て邦人の發展せざるはクチン市はサラワク王國の首府にして政廳此地に存在し、當國中最も早く開けたる土地にて、交通の便良く、新嘉坡との間にはサラワク汽船會社經營に屬する定期航路ありて、本領へ渡來する者は、旅行者と言はず、企業家と言はず、先づ足跡を當市に印するを以てなり。

(3) 土地及土質の關係

クチン市附近及び當領海岸一帶は、一般に土質不良にしてサゴ其他野生植物の栽培以外には不適當なるが如し。奥地深く進入するに従ひ、土質は良好なれども、交通不便の爲め小企業者の入込み得る可能性に乏し。

ラジャン河上流沿岸地方は、土地豊富にして土質亦甚だ良好なるを聞けども、未だ實地に付き學術的に調査したる者無く、邦人にして同地方の企業に従事したる者無し。

クチン市外マタンロード沿道は、土質餘り良好ならざるも、交通の便ある關係上邦人農業者の

來り集るもの多く、租借面積既に一、二〇〇英反内外に及び、日本人村を形成しつつあるは誠に心強く特に是等は總べて個人經營に係るものとして獨立の意志堅く、今後愈々向上發達を豫想せらるゝと共に、將來意志確固たる後輩の移住し來る事をば待ちつつある状態なり。

(4) 金融機關設置の必要

本領内に於て、農園を經營せんとする個人移住者は、最初渡南當時多く資金を携へず、自己の努力を大部分の資本として起業し今日に及べるものにして、財界不況の影響は他の如く大ならざれども、企業の規模小にして利潤も少なく、加ふるに多く半成の事業なるを以て、今後の發展を期するには、金融機關の後援あることを必要とす。現今同地には支那銀行三、及びチャーター銀行の出張所營業しつつあり。然れども、之等の銀行は、概して農園事業に對しては貸附を爲さず。既成の護謨園を利用し、以て金融の途を講ずることを得ざるは遺憾なり。茲に於てサラワク在留同胞は、内地に於ける農工銀行の如き金融機關の開設を冀望して歎まざる状態なり。

(5) 各種産業の状態

商業 商業として、クチン市内外に邦人の營業をなし居る者なく、僅かに齒科醫一、藥種販賣業者にして調劑を業とする者一あるのみ。只後者松本濟生堂に於て、多少の日本雜貨を販賣しつつあるが、漸次發展の様あり。

ミリには、邦人經營の雜貨二、三ありて相當收益を擧げつつありと聞く。關下商店、小原商店之れなり。

今商業に就き一言せんに、日本製雜貨は、英領馬來に於けると同じく、支那商人の手に依て市場に出廻るもの多く、假に邦人小資本家が此地に開店すとしても、蓋し絶大なる決心と努力を必要とする。何となれば、支那人各店が彼等と同一商品を取扱ひ販賣し居れる結果、薄利多賣主義を行ふに非ざれば、競争場裡に飛込みて、却て大なる失敗を招くべければなり。大資本を投じて、デパートメント式經營を行はば或は好成绩を擧げ得んも、高尚優美なる品物に至ては客筋藪き故、是亦容易にあらずと觀測せらる。

鑛業 金 曾てボルネオ會社が經營して多大の收益を擧げたるバウ金山は廢坑となり、現在は支那人コンジョンなる者ありて殘鑛を採掘し居るも、成績良好ならず。

石炭 サドンに一大炭坑あり以前には政府之れを直營したり。尙ほ新に發見せる炭田に關しては採掘方出願中。

石油 ミリに於けるサラワク石油會社 (Sarawak Oil Fields, Ltd.) の有する石油坑は、油量殆んど無盡藏にして、ロイヤル・ダッチ石油會社の寶庫たるのみならず、サラワク政府に取ては、一

の大なる税源たるなり。

農業 サゴ 本領内に於ける産額は相當に多く、オヤカモ附近に生産し、クチンに運送し來り、支那人工場にて之れを精製の上新嘉坡へ輸出す。サゴの製造並に賣買は、一切支那人の手に依て行はれ、外國人の之れに従事するも者一人も無し。クチン方面以外の地方に於ては、馬來人の之れが生産に従事するものあれど、支那人に依て根切り倒されつゝあり。

米 米作は、政府の奨励する所なれども、比較的接近し易き部分に於ける土質其他の關係上今日まで好成績を挙げ得ず。従てダイヤ人及び馬來土人等が、自家用として極めて粗放的に之れが栽培に従事しつゝあるのみ。頗る幼稚なる米作のこととて、好成績を挙げ得る道理無く、國內にて消費せらるゝ白米の八〇パセントは外米なる有様なり。

胡椒 サラワクの生命たりし胡椒の栽培は十二、三年前迄頗る旺盛なりしも、其後護謨價の昂騰せると共に之れが栽培に従事せるもの漸く減少し、加ふるに、病害虫に依る損害加はれる爲め、絶滅に瀕せんとしつゝあり。之れが對策として、最近政府は大いに之れが奨励を計り、害虫驅除等に就ても、専門家を招聘する等手を盡し居れるも、未だ舊時の盛況を見るに至らず。タビオカ、ダマール、ガムビア、カツチ、油椰子、椰子等の農産物林産物に就ては、面白き結果ありしを聞かず。

二、地方栽培業者の状況

クチン市々外マタン・ロード附近日本人村の部

(1) 清水護謨園 明治四十二年開設

經營者 清水傳四郎 (茨木縣人)

拂下總面積 三三八英反

植付後十八年を経たるもの	一〇英反(高地)
同 十五年 同	二〇同(高地下)
同 八年 同	四〇同(平地)
同 一年半同	七〇同(同)
昨年植付を終了せるもの	八八同(同)
同昨年伐木を了せる森林地	六〇同(同)
未開墾地	五〇同(同)

昨年末に於ける投資額 約三八、七二〇弗

開園後に於ける全収入額 約四八、七二〇弗

現在生産面積三〇英反。切付面^{一四}。タツバー一〇名。一名持本數三〇〇本。一日三〇乃至三五封度の收穫あり。但し高地の一〇英反は既に老木にて、一日僅かに四封度位を生産するに過ぎず。

本園は在沙邦人の護謨園中最も舊く、最初高地の栽培に著手したる當時は、經驗淺かりし爲め、該高地一〇英反は全く手習草紙の如き觀を呈し、タツピング面は一面切疵にて、現今殆んど價値無し。猶ほ八年木も既に生産年限に達せるも、生長不揃なるにより未だタツピングを開始するに至らず。現在一ケ年を通じて略々一萬封度内外の産出なり。

(2) 駒形護謨園 大正十二年開設

經營者 駒形重治 (新潟縣人)

拂下總面積 八〇英反

植付後五年を経たるもの 一七英反

同 一年半を経たるもの 一〇同

昨年伐木を了せるもの 二〇同

原生林地 三三同

昨年末に於ける投資總額 約六、五〇〇弗

過去に於ける全收入 約一、二〇〇弗

本園は、未だ生産期に達せず。茲を以て、園内の一部にトバを間作し、之れが収入に依て經費に充る計畫なるも、成績餘り芳しからず。現状維持の目的を以て苦心經營中なり

(3) 福丸護謨園 大正十年開設

經營者 福丸安平 (福岡縣人)

拂下總面積 一一四英反

植付以後六年に達せるもの 四二英反

昨年度植付を了せるもの 三二同

同昨年伐木を終了したる森林地四〇同

最初に開墾植付したるもの約一〇英反に就きタツピングを開始せり。二名の苦力を使用して一日六乃至七封度の收穫をなす。本年六月頃よりは生産面積を増加する筈なり。

當園の主人は、非常なる努力家にて、勞力を資本とし奮闘して今日に至れるものにて、最初四十二英反を完成せり。トバの間作に依り、資金を得たり。今日迄の投資額は凡そ三千弗内外に過ぎずと想像せらる。

(4) 林護謨園 大正六年開設

經營者 林吉次郎 (富山縣人)

拂下總面積 八六英反

植付後十一年を經過せるもの 一三英反

同 十年同 一〇同

同 三年同 二〇同

原生林地 四三同

昨年末に至る投資總額 約九、〇〇〇弗

今日までに至る全収入額 約三、〇〇〇弗

生産面積二〇英反。切附面 $\frac{1}{3}$ 。本數三、二〇〇本。タツバー八名。一名持本數四〇〇本。生産量一日八〇封度

本園は一年の中約六ヶ月間採集を成し、餘の六ヶ月間をば休養期に充て、樹木の保護恢復を策せり。されば、一ケ年の生産高約一萬封度に過ぎず。半ケ年採集し残る半ケ年を樹木の休養期とせる本園に於ける成績の良否は頗る著目せられ居れり。

(5) 大政護謨園 大正十年開設

經營者 大政 修 (愛媛縣人)

拂下總面積 一九三英反

既成園を買収し十一年を經過せるもの 一五英反

植付後八年を經過したるもの 二八同

同 六年同 二〇同

同 三年同 二〇同

同 二年同 一五同

同 一年同 四〇同

目下伐木並に植付を成し居るもの 五五同

昨年末に於ける投資總額 約四、〇〇〇弗

過去に於ける収入の總額 約四、〇〇〇弗

生産面積一五英反。切附面 $\frac{1}{3}$ 。タツバー二名。一名持本數四〇〇本。生産量一日四封度

本園主は、最初他方面に於て支那人既成園を買収し、護謨の好況時代に投資せる資金全部を回收し、其餘得を以て新たに本園に著手したり。之れと同時にトバ會社と契約を結び、此の間作物によりて利益を得、隨時園を擴張して現今に至れり。

(6) 前田護謨園 大正七年開設

經營者 前田 ハナ (福井縣人)

拂下總面積

五〇英反

植付後九年に達したるもの

一五英反

同 七年同

一八同

現在伐木植付中のもの

一七同

昨年末に於ける投資總額

約五、〇〇〇弗

過去に於ける収入の總額

約二、〇〇〇弗

生産面積一五英反。切附面 $\frac{1}{3}$ 。タッパー四名。一名持本數四〇〇本。生産量一日一五封度

本園は、實父前田初二郎と共に、一家族を擧げ移住地北海道より來り、開設せられたるものなり。然るに此後實父先づ内地へ歸り、姉妹亦離散して、現在二女ハナ子園主となり、經營の任に當り居り。

(7) 山下護謨園

山下汽船鑛業會社の經營にて、當園は別記山下護謨園の分園なり(別項參照)

拂下總面積

三三〇英反

目下伐木、開墾、植付中

(8) 石原護謨園 大正十五年開設

經營者 石原義照 (愛知縣人)

拂下總面積

二〇英反

全部植付済既に二年を経過す。トバを間作して年二回之を收穫し利益を收め居れり。

昨年末に於ける投資總額

約五、〇〇〇弗

過去に於ける収入の總額

約三、二〇〇弗

本園はトバの間作により資本を得、經營を繼續せるものなり。

前掲(1)より(8)に至る護謨園はマタン・ロードに在り、俗稱日本人村といひ、全部平坦地にして、植物性腐蝕土なり。表面に土砂を見ず。地表部より深き處は約十呎、淺き處にて二呎位黑色腐蝕土(土語タナバヤ)を有し、其下部に約眞土質を有す。此地方の土壤は三段に區別され居れり。即ち、第一、上部腐蝕土、第二、中部表土、第三、下部心土之れなり。茲に云ふ中部は地質時代に於ける以前の表土にて深さ約六吋乃至一呎位あり。

此の土地に適する作物としてはバインアップル(土語アナナス)を第一とす。次にトバ(Tuba Tod-ang)栽培も、相當成績を擧げたるも、全然不可能の場所あり。殊に同一場所に於ては精々二回迄にて三回以上同一場所にトバを栽培することを得ずと言はる。

此地の長老たる清水氏の報告に依れば、バインアップル以外の適作物としては、護謨を第一位に

置き、トバ、サゴ等之れに次ぎ、タビオカ又は黒芋の間作亦なりといふ。當地方一帯に於ては、白蟻の害甚大なれども、ファンガスに由る樹害は極めて少く、タツピング面の恢復至て早く、將來も現在に於けると同じく護謨の栽培に關する限り施肥の必要を認めざるべし。殊にラン草の繁殖の虞無きは栽培家として大なる利益なり。

然れども、該地方に於ける開墾は、高地に於けるより多額の費用を要する事を覺悟せざるべからず。何となれば此地は焼拂に不便あると共に焼拂後の整理及び排水溝の設置に多大の經費を要するを以てなり。

クチン市外タブアン村方面の部

(1) 立岡護謨園 明治四十四年開設

經營者 立岡富士太郎 (熊本縣人)

拂下總面積 五〇英反

植付後十八年を経過するもの 一〇英反

同 八年 同 二〇 同

同 三年 同 二〇 同

右の以外に支那人既成園を買収せるもの一〇英反あり

昨年末迄に於ける投資總額 約五、〇〇〇弗

過去に於ける収入の總額 約一〇、〇〇〇弗

生産面積 四〇英反。切付面 $\frac{1}{2}$ 。タツパー五名。一名持本數三五〇。生産量一日二〇乃至

二三封度。

本園主は清水傳四郎氏と共に、サラワクに於ける邦人護謨園の元祖とも云ふべき福島又彦氏にして、現在の主人は、先代の義弟にして兄の遺業を繼承し今日に至れるものなり。

(2) 森内護謨園 大正五年開設

經營者 森内嘉十 (熊本縣人)

拂下總面積 三〇英反

既成園を買収し植付後一一年を経過せるもの 一〇英反

植付後七年を経たるもの 二〇英反

昨年末迄に於ける投資額 約五、〇〇〇弗

過去に於ける収入の總額 約七、五〇〇弗

生産面積 一五英反。切付面 $\frac{1}{3}$ 。タツパー三名。一名持本數三五〇。生産量七乃至八封度

本園は、叔母森下カノ氏の所有するものにて現經營者は氏を助けて益々發展の實を示しつつあり。

(3) 小川護謨園 創設年度不詳

經營者 小川 仲 (神奈川縣人)

既成園を買収したるもの 二〇英反

本園は、土質も好く、他地方に於ける護謨園に比して收穫も劣らず。邦人の苦力頭(土語マンドル)を置きて經營中なれども、附近には將來發展の餘地に乏し。されば、本園は僅かに現状を維持するに過ぎず。

(4) 村上護謨園

經營者 在新嘉坡村上商店 (愛知縣人)

拂下總面積 五〇英反

植付後放棄の状態なり

但し右の中二英反位は採集することを得

此地方は、土質一般に不良にして農作物に適せず。邦人の此地方に居を構へたるもの失敗せざるは無き有様なり。タブアン地方は、大部分白粘土なるを以て砂混りなるも土質堅く、護謨樹にありては生育遅々として採集時期に達せず。他方面に比し、其生産量甚だ少量なり。

クチン市外ロツク・ロード及鐵道沿線の部

(1) 木村護謨園 大正九年開設

十哩地點より左へ三哩半入るコアブ村(ダイヤ部落)

經營者 木 村 弘 (神奈川縣人)

拂下總面積 一五〇英反

植付後一〇年を経過せるもの 一〇英反

同 七年 同 五〇 同

同 三年 同 五〇 同

昨年植付を完了せるもの 四〇 同

昨年末迄に於ける投資額 約五、〇〇〇弗

過去に於ける収入の總額 約二、〇〇〇弗

生産面積 一五英反。切付面 $\frac{1}{3}$ 。タッパー三名。一名持本數 三五〇。生産量一日一五封

度

本園は土地肥沃にして小高地帯多く、土色は黄赤色にて護謨に適せり。本園の主人は趣味に富め

る人にて、土人苦力を雇ひ、南洋果樹及柑橘の栽培を企圖し、副産物に依て採集期に達するまで持耐えんと計畫し居れり。

(2) 西和田護謨園 大正元年開設

鐵道沿線十五哩地點

經營者 西和田安平 (高地縣人)

拂下總面積

六〇英反

全部植付濟

最近某會社を辭し、獨立して護謨園の經營に従事し、妻子と共に園内に居住す。

(3) 日沙商會分園

鐵道沿線七哩地點

拂下總面積

三三英反

既成園を買收したるものにて、全部植付濟。切付面一四。タツバー十二名。一ヶ年生產量一二、八〇〇封度

本園は、交通便利にして周圍も相當に開發せるも、其結果附近に森林無く殆んど擴張の餘地無し。

クチン市外七哩餘上流バト・カワ村落の部

(1) 栗原護謨園 大正元年開設

經營者 栗原キサ (長崎縣人)

拂下總面積

一五英反

既成園を買收し植付後一〇年なるもの 五英反

植付後三年乃至六年を経過せるもの 一〇英反

昨年末迄に於ける投資額 約三、五〇〇弗

過去に於ける收入の總額 約三、〇〇〇弗

生産面積 一〇英反。タツバー三名。一名持本數三五〇。生産量一日二三斤

(2) 前田護謨園

既成園を買收したるものにて相當の收益あり。然れども調査頗る困難なる爲め詳細は不明なり。

(3) 島田護謨園 大正五年開設

經營者 島田徹太郎 (鳥根縣人)

拂下總面積

六〇英反

全部植付済

昨年未迄に於ける投資額 約二〇、〇〇〇弗(?)
過去に於ける収入の總額 約二六、〇〇〇弗(?)
生産面積 五五英反。切付面一四。タッパー一五名。一名持本數四〇〇本。生産量一日五〇封度。

本園は、支那人既成園を買収して逐年擴張の上現在に至る。此地方は土質良好なるも、高地は表土流下の爲め樹木の生育悪しく、生産量亦思ひの外増加せざる模様なり。

クチン市外サラワク・リバー上流タンジョン・ホー附近の部

(1) 山下護謨園 大正六年創設

經營者 山下汽船鑛業會社

拂下總面積

五二〇英反

支那人既成園を買収せるもの。全部植付済。

第一園、第二園、第三園の三ヶ所に散在す。

生産總面積 四五〇英反。



昨年未迄に於ける投資額 約二〇〇、〇〇〇圓

過去に於ける収入の總額。出資額の全部を回收せりといふ。

一ヶ年生産量 一五〇、〇〇〇封度

採集區域第一園 四七。一名持本數四〇〇内外。全部請負制度に依る。

本園は、概して土地良好なるも、一部は胡椒の廢園よりなり、樹齡十年以上に達せる部分は産出量思はしからず。然れども第一園の如きは好成績を挙げ資本の全部を回收せりといふ。

サラワク河より支流サマラハン河に至る沿岸の部

(1) 日沙商會サマラハン護謨園

經營者 株式會社 日沙商會

拂下總面積

五、二二六英反

既に開墾を了したるもの

三、一七七英反

此内植付を了せるもの

三、一五七英反

植付未済のもの

二〇英反

未だ開墾せざるもの

一、九九八英反

此他に道路、水路、建物敷地及公園果樹園約六〇英反あり。

生産面積 一、九三二英反。切付面 四。タツパー數 二八〇名。一名持本數四〇〇。一ヶ
 年生産量 六九六、五〇〇封度。

本園は、今年更に三〇〇英反の採集を開始すべく豫定し居れり。交通便利の地なるに拘はらず、
 土地豊富にして、土質も良好なるが故に、特に此地を選びて護謨の栽培を開始せるものなりといふ。

今邦人の租借、植付并に生産せる面積の合計を表示すれば次の如し。

- 一、租借面積 七、三八五英反
- 二、開墾植付面積 四、四八三英反
- 三、生産面積 二、六〇九英反

附 録

第一 サラワク王国最近十ヶ年輸出入貿易表 (價額單位 海峽植民地弗)

年 次	輸 入 額	輸 出 額
一九一七年	九、〇一三、八九六	一〇、九四七、四五八
一九一八年	九、九〇八、七三二	一一、五四〇、一九〇
一九一九年	二〇、二六五、二八一	二三、九五七、九五三
一九二〇年	一九、八五八、七〇〇	二二、三八八、〇七四
一九二一年	一五、二四八、七四九	一八、四五四、五九二
一九二二年	一六、五四〇、三一六	二五、五七四、六三二
一九二三年	二三、二五五、五二九	三九、八二四、七九七
一九二四年	一六、七二七、五九四	三六、八四四、三七五
一九二五年	二一、〇七二、八八四	五六、〇一一、〇三六
一九二六年	二四、一九五、四九一	五三、四六六、九二四

第二 一九二四—二六年サラワク王國輸入貿易比較表 (價額單位^二)
 (海峽植民地弗)

品名	單位	一九二六年		一九二五年		一九二四年	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額
炭酸水	箱	二四三	一九九四七	二〇七	一六三九〇	八一	七八八八
彈藥	箱	：	二九七三	：	二四八二九	：	一六一六
アラツク酒等	箱	：	一九五四六	：	一六九七八	：	九四三九四
ビスケット	擔	五三 ^三 / _四	二五〇九三	二九四 ^一 / _四	一九四〇八六	：	九三五六七
小海老	擔	：	九四四一	：	四〇八九	：	二八四二
毛布	擔	：	三〇二七四	：	三三八七	：	六三六三
真鍮及銅板類	擔	：	一五二六二	：	一四九二六	：	：
真鍮及銅器類	擔	：	一一三三三	：	八二六六	：	七六一六八
靴類	擔	：	六八九〇	：	六八五三	：	一九五二〇
バター及チーズ	擔	：	三二六六二	：	二五五八二	：	一六七九二
蠟燭	擔	：	一九二九九	：	一七三〇	：	七九四七
帆布	擔	：	一九一八五	：	三二八二四	：	一七六四二
セメント	擔	：	二六八六六	：	一〇九四七	：	二二九六八
活動寫真用フィルム	擔	：	三三三〇一	：	三三三〇〇	：	：

品名	單位	數量				金額			
		一九二六年	一九二五年	一九二四年	一九二六年	一九二五年	一九二四年	一九二六年	
諸雜品	箱	
茶(包)	箱	
茶(罐)	箱	
電信及電話材料	箱	
木類	箱	
煙草	箱	
紙卷及葉卷罐入	箱	
支那煙草	箱	
パレムパン、瓜哇及サロホ煙草等	箱	
海參	箱	
蔬菜	箱	
生野菜	箱	
鹽漬及調製野菜	箱	
罐入	箱	
芝居材料	箱	

品名	單位	數量				金額			
		一九二六年	一九二五年	一九二四年	一九二六年	一九二五年	一九二四年	一九二六年	
酒類	箱	
線類	箱	
真鍮及銅線	箱	
亞鉛引線	箱	
線製	箱	
亞鉛	箱	
板	箱	
亞鉛器	箱	
合計	箱	

第三 一九二四—二六年サラワク王國輸出貿易比較表 (價額單位 海峽植民地弗)

品名	單位	一九二六年		一九二五年		一九二四年	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額
アンチモニ!	屯	四 ^一 / _四	四〇
マンダローア皮	擔	三三六	二四六	三五六 ^三 / _四	七九	二八五	五六〇
檳榔子實	同	五三三	五八六	三五三	四二八六	三五五	三六三〇
密蠟	同	七 ^一 / _二	五三二	八 ^三 / _四	五四三	六	三九二
燕巢	擔	一 ^三 / _八	六〇七	二 ^五 / _八	九四九〇	五 ^一 / _四	一六三〇
白	同	二 ^三 / _八	六二八	四 ^一 / _二	二四〇七	四四五	九一五〇
黑	同	五 ^〇 / _四	三三八	六五	五四一
柏	斤	一四 ^七 / _八	一四六	三九 ^三 / _四	三九六六	五三	五二〇
小海老	擔
真鍮器	斤
樟腦	斤
樟腦油	斤
活動寫真用フィルム	筒
木炭	擔	四九 ^六 / _七	八六三	三九 ^六 / _三	五三六	二八 ^二 / _四	四二五

品名	單位	一九二六年		一九二五年		一九二四年	
		數量	金額	數量	金額	數量	金額
魚類II	擔	九六六三	三二七四二	九二六三	一七〇四九二	七八〇九	二九四〇二
乾鹽魚	擔	六〇三/四	七六三〇	六六三/八	六三三五	五六一/四	四八〇一
鮪	同	一〇二一/八	三〇四〇一	一〇九一/八	三二八二八	九二一/二	二四一五七
胃	同	九八五/八	五六四八六	八三四/二	四六九一〇	七〇四	三四八四五
鱈	同	一五	三四〇	一〇〇/二	一七三六	三〇三	五〇三八
ガム	同	二〇七/四	五三四	六〇三/二	二五六〇
ビ	同	二四九二	六三三七	七〇九七六	二四八〇八	八七七二	三二七〇〇
ア	同	...	九一	...	二二
Galga	同	...	三二三八	...	四〇九五六	...	三九七六七
舊ガ	同
ニ	同
一	同
ガツタ及護膜II	擔	二五七五/四	六八六九九	八七一/二	一八一〇	...	二四
シエルトン	同	三三六〇	一五八〇九	八二一/八	二七三二七	一四七三/四	五二七八二
シヤン	同	三三六〇	一五八〇九	八二一/八	二七三二七	一四七三/四	五二七八二
カル	同	三三六〇	一五八〇九	八二一/八	二七三二七	一四七三/四	五二七八二
シエルトン	同	三三六〇	一五八〇九	八二一/八	二七三二七	一四七三/四	五二七八二
精製シエルトン	同	四四一七/二	二二七三六	三〇七三/八	九七七一八	三九六一六	六四一〇七九
栽培護膜	同	一五六二/四	一六〇七三六	一五三九五三/八	三二一六二七二	二二五四八/四	六六七七九二

品名	單位	一九二六年		一九二五年		一九二四年	
		數量	金額	數量	金額	數量	金額
布類	屯
石炭	同
椰子	同
咖啡(ハリベリヤ)	同
コ	同
陶器	同
カ	同
タ	同
マ	同
タラツト若しくはラウト	同
ダイナマイト	同
海龜卵	同
空箱及空袋	同
果實	同

品名	單位	一九二六年				一九二五年				一九二四年			
		數量	量價	額	數	量價	額	數量	量價	額	數量	量價	額
其 他	同	一	二七四	二〇
機 械	同
見 本	同
油 類	同
原 油	同
燈 油 (大量のもの)	同
同 (箱入のもの)	同
液 體 燐 料	同
植 物 油	同
阿 片	同
白 米	同
黑 胡椒	同
乾 製 中 蝦	同
藤 第一號セガ	同

品名	單位	一九二六年				一九二五年				一九二四年			
		數量	量價	額	數	量價	額	數量	量價	額	數量	量價	額
業 護 謨	同
ガ ツ タ	同
シ ア	同
バ ル	同
獸 皮 類	同
蟻 喰	同
水 牛 及 牛	同
犀 斤	同
其 他	同
返 送 品	同
鐵 器	同
壺 類	同
カ シ ャ	同
家 畜	同
牛 頭	同
豚 頭	同

品名	單位	一九二六年		一九二五年		一九二四年	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額
藤 第二號デモイ等	擔	二七五八 ^一 / _四	九六四〇・八	一六四三九 ^一 / _八	八五四三〇	六五四五	三四七六八
米	同	二四六〇	二三八七	二二四九 ^一 / _四	一九六〇	二二〇一 ^一 / _二	一九四三五
サゴ粉	同	二六二五 ^七 / _八	一五九二・三三	三〇六〇 ^一 / _四	一九八〇・七	三三二五 ^一 / _二	二二五・五三
原料	ビンタム	三元	一七二
鹽	擔	三〇 ^三 / _四	一四
砂糖	同	一五	二六五
ニツパ糖	同	七五三	三九一四六
諸雜品	箱	二二・三九
茶 (マタ)	箱	五〇
木製材	同	三八八六
同製	同	三三六
煙草	同
葉卷及紙卷罐入	函	六七五二
支那煙草	擔	三五二
パレムバン、爪哇サ	同	五〇
ロボ等	同
トバ根	同	七〇三三

品名	單位	一九二六年		一九二五年		一九二四年	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額
漆 蠟 果	擔
芝居材	同
酒類	同
亞鉛	同
合計	

終